

# Eco-DRR カルテの作成を通じた地方公共団体の取組支援

## 気候変動適応に向けた九州・沖縄地域での取組

### 取組の概要

- 気候変動適応九州・沖縄広域協議会（事務局：環境省 九州地方環境事務所）では、気候変動影響への適応に向けて『豪雨災害分野における適応アクションプラン』を令和5年3月に策定し、構成員の地方公共団体において Eco-DRR の考え方を主軸とした適応策を進めることとしている。
- 地方公共団体において Eco-DRR の実装を進める上では、様々な庁内関係者が Eco-DRR の考え方や自らの地域のポテンシャルを理解しつつ、同じ方向性を持って取組を進めることが重要である。
- そこで本協議会の災害対策分科会では、『Eco-DRR 現地視察会・勉強会』の開催のほか、『Eco-DRR カルテ』の作成など、地方公共団体における関係者の理解醸成や取組方針の検討を支援する活動を進めている。

### 豪雨災害分野における適応アクションプランとは

- 広域協議会で策定した九州・沖縄地域の広域行動計画であり、近年激甚化する豪雨災害への適応にあたり、Eco-DRR の考え方を主軸とした適応策の基本的な考え方、具体的な取組の進め方、実施体制などをとりまとめたもの。
- 九州・沖縄地域における地方公共団体での Eco-DRR の推進にあたり、考え方や進め方をわかりやすく示す上で、Eco-DRR を保全・活用という2つのカテゴリに分けて整理し、地域の実情に応じた取組を進めていくこととしている。

#### ■ アクションプランにおける Eco-DRR のカテゴリ分け

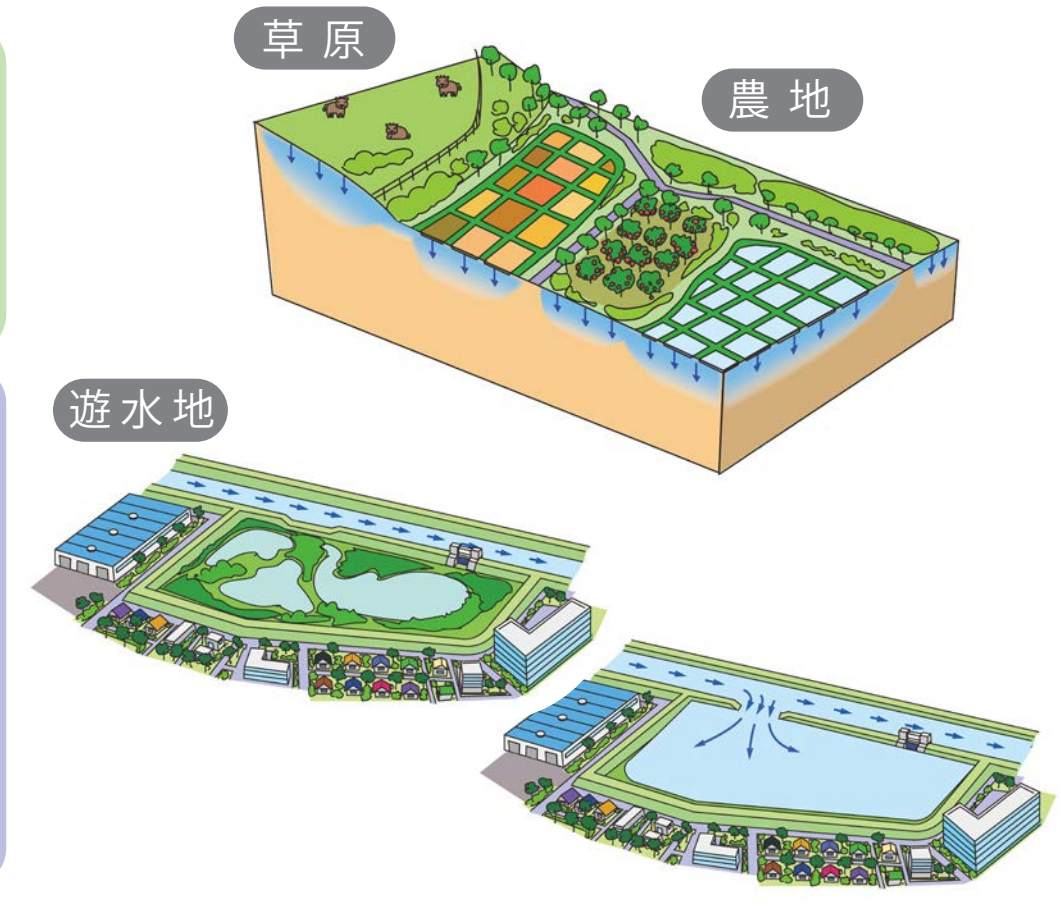
【カテゴリ1】既存の自然環境・土地利用形態を継続的かつ効果的に**保全・再生**する

森林(山林) / 草原 / 農地(田、畑、果樹園など) / 干潟 / 砂浜 / 砂嘴(さし) / 島 / サンゴ礁 / マングローブ林 など

【カテゴリ2】新たな工夫や災害対策を意識した場の創出によって自然環境が持つ**防災・減災機能を更に活用**する

緩衝林(樹木) / 田んぼダム(水田) / ため池(地形) / 水害防備林(樹木) / 霞堤(土地(農地)) / 遊水地(土地) / 雨庭(土壌等) / 屋敷林、生垣(樹木) / 都市緑地等(樹木・土壌など) / 海岸防災林(樹木) など

※【】は活用する自然環境を示す。



## 気候変動適応九州・沖縄広域協議会 災害対策分科会による地方公共団体の取組支援

### Eco-DRR 現地視察会・勉強会等の開催

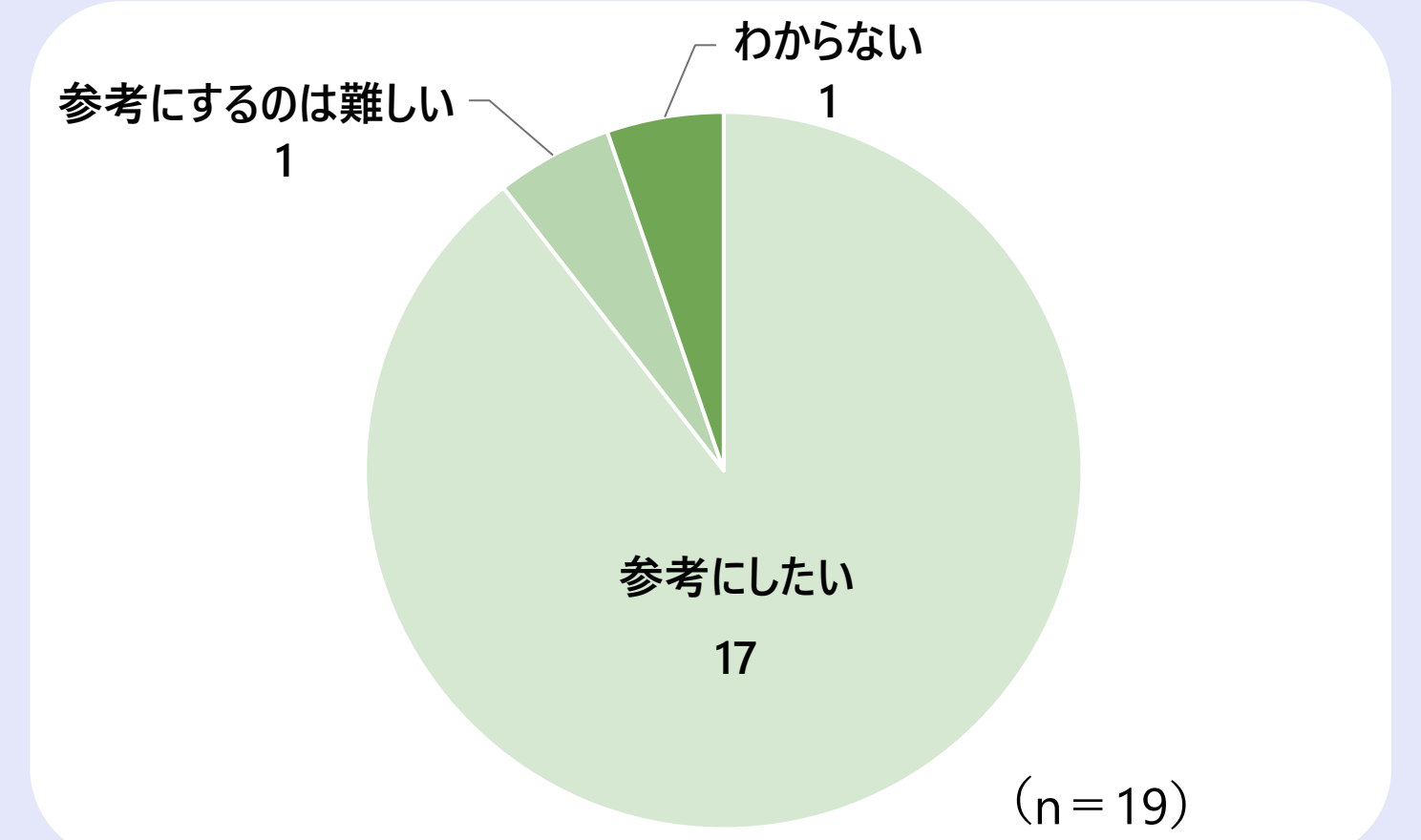
- アクションプランに基づく地方公共団体の取組のフォローアップとして、庁内関係部局・有識者を一同にした現地視察会・勉強会を開催。（令和5年度以降は Web 会議形式による勉強会も開催。）
- この取組は現在、九州・沖縄地域の6県を対象として実施しており、Eco-DRR の考え方への理解や庁内連携のきっかけづくりに寄与している。

#### ■ Eco-DRR 現地視察会（熊本県）



#### ■ 事後アンケート結果（R4-R5 年度の総計）

Q. 今後の業務で取組を検討する際に、Eco-DRRの考え方は参考になりそうですか。



### Eco-DRR カルテの作成

- 視察会・勉強会を実施した県を対象に、県単位の Eco-DRR に関する情報を概括的にとりまとめた「Eco-DRR カルテ」を作成し提供。
- カルテは、各県の Eco-DRR 事例や取組方針の検討に資する情報をまとめており、地域への普及啓発にも活用可能。
- 現在4県（福岡・長崎・熊本・沖縄）の作成が進んでおり、このカルテも活用頂きつつ Eco-DRR の実装を進めていくこととしている。

#### ■ Eco-DRR カルテの構成（令和5年度時点）

内容	ねらい
1 地形・気象の特性	地域の地形や大雨の特徴などの概況の把握
2 災害（水害・土砂災害）の特性	地方公共団体において懸念される水害の種類等
3 過去の主な水害	過去発生した大規模な水害に関する情報の把握
4 Eco-DRRとは	Eco-DRRの考え方、自然環境等がもつ防災・減災の機能等
5 Eco-DRRマップ	地域に存在する防災・減災機能をもつ自然環境等への気づき
6 災害リスクの低減に向けた地域資源の保全・活用の方向性	地域特性を踏まえた地域資源の保全・活用等の検討
7 Eco-DRRの取組に関するポイント・留意点	Eco-DRRの考え方に基づく取組のポイントや留意点の把握



#### ■ Eco-DRR カルテの一部（左：熊本県、右：福岡県）

<Eco-DRR カルテ(熊本県版)> p.7

熊本県のEco-DRR マップ

- ① 干潟(荒尾干潟) 弱抑
- ② 海岸防災林(天草地域) 他 弱抑
- ③ 遊水地(内牧遊水地) 他 受
- ④ 湖・公園(水前寺江津湖公園) 受
- ⑤ 草原(阿蘇くじゅう国立公園) 貯抑
- ⑥ 屋敷林(阿蘇地域) 弱
- ⑦ 森林(山林) (県全域) 貯抑

<Eco-DRR カルテ(福岡県版)> p.8

福岡県のEco-DRR マップ 2

- ⑧ 農地(県全域) 貯
- ⑨ 雨庭(熊本県立大学・南嶺高校) 他 貯
- ⑩ 水害防備林(球磨川流域) 他 弱抑
- ⑪ 樹田(八女市 広内上原地区) 他 貯抑
- ⑫ 多自然川づくり(上西郷川) 他 受
- ⑬ 片側堤防(筑後川・小石原川) 受
- ⑭ 雨庭(あめにわらいセンター) 他 貯
- ⑮ ハマボウ(高山市のハマボウ群落) 他 弱抑
- ⑯ 調整池(山王公園) 他 貯

### 目指すゴール

# 3

## 目指すゴール：九州・沖縄地域が一体となった Eco-DRR の推進

自然の恵みを基盤としたレジリエントで魅力ある地域へ

これらの作業は「気候変動適応における広域アクションプラン策定事業（令和2年度～令和4年度）」

「気候変動適応地域づくり推進事業九州・沖縄地域業務（令和5年度）」の一環として環境省から業務を請負い、実施しました。

詳しくはこちら

気候変動適応 広域アクションプラン

[https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action\\_plan/index.html](https://adaptation-platform.nies.go.jp/moej/action_plan/index.html)

